

### 110 歴史史料をひもとく

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室2  
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 25名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・18	月	近世史料をよむ －水害と向き合う人びと「満水留」より－	富山県公文書館 史料調査専門員 認証アーキビスト 榮 夏代
2	6・1	月	昭和史をよむ －昭和前期の暮らし－	
3	6・15	月	アーキビストの仕事 －県公文書館の活動を事例として－	
4	6・29	月	歴史資料にふれる －「守る」「活かす」「学ぶ」－	市民俗民芸村 学芸員 榮 夏代 兼 子 心
5	7・13	月	中世史料をよむ －災害・疫病をくぐり抜けて－	市民俗民芸村 学芸員 兼 子 心
6	8・17	月	中世史料をよむ －戦国期にかけての医薬の発展－	
7	9・7	月	昭和史をよむ －戦前・戦後 激動の売薬業－	
8	9・28	月	古代史料をよむ －災意と思想－	越中央壇会 会長 木本 秀樹
9	10・19	月	古代史料をよむ －海を渡った人びと その2－	
10	11・9	月	昭和史をよむ －明治以降の「古代」の一齣－	

### 111 おくのほそ道をよむ

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室2  
[時間] 9:30~11:30 / [定員] 25名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・20	水	俳諧と芭蕉	富山高等専門学校 名誉教授 高熊 哲也
2	6・3	水	序章 草の戸も住替る代ぞひなの家 旅立 行春や鳥啼魚の目は泪	
3	6・17	水	日光 あらたうと青葉若葉の日の光 白川の関 卯の花をかざしに関の晴着かな(曾良)	
4	7・1	水	平泉 夏草や兵どもが夢の跡 卯の花に兼房みゆる白毛かな(曾良) 五月雨の降り残してや光堂	
5	7・15	水	立石寺 閑さや岩にしみ入蟬の声 最上川 五月雨をあつめて早し最上川	
6	9・9	水	象潟 象潟や雨に西施がねぶの花	
7	9・30	水	一(市)振 一家に遊女もねたり萩と月	
8	10・14	水	那古の浦 わせの香や分入右は有磯海 金沢 塚も動け我泣声は秋の風	
9	10・28	水	小松 むぎんやな甲の下のきりぎりす 那谷 石山の石より白し秋の風 山中 山中や菊はたおらぬ湯の匂	
10	11・11	水	大垣 蛤のふたみにわかれ行秋ぞ	